

Title	二〇〇七年度三田史学会大会；三田史学会常任委員・委員(二〇〇七年七月～二〇〇八年六月)
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	2007
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.76, No.2/3 (2007. 12) ,p.169(331)- 171(333)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-20071200-0169

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

二〇〇七年度 三田史学会大会

一〇〇七年六月三日(土)ー

午前の部 研究発表

日本史部会

- 一、安殿親王の帯剣ー日本古代の帯剣と皇太子ー
慶應義塾大学大学院修士課程 山下 紘嗣
- 二、寛政度皇后御殿造営と朝廷
慶應義塾大学大学院修士課程 長澤 慎二
- 三、朝鮮通信使の通行における乗馬・馬具調達体制
慶應義塾大学大学院修士課程 横山 恭子

東洋史部会

- 一、一五・一六世紀ダマスカスにおけるアーリムの形成過程
ーイブン・トゥールーンの自伝からー
慶應義塾大学大学院後期博士課程 苗村 卓哉
- 二、サハーウィー『輝く光』にみえる後期マムルーク朝社会のワーズー
慶應義塾大学大学院後期博士課程 塚田 絵里奈
- 三、キャスラヴィーの立憲革命史をめぐる諸問題
慶應義塾大学大学院後期博士課程 為 永 憲 司
- 四、上海楚簡「東大王泊旱」における「修い」と「穢れ」について
慶應義塾大学大学院後期博士課程 島田 翔太

西洋史部会

一、第二次クー・クラックス・クランの支持基盤

―イリノイ州ウィリアム郡の場合―

慶應義塾大学文学部非常勤講師

綾 辺 昌 朋

二、一八六〇年代の上海共同租界における行財政改革

―「上海土地章程」の改訂議論を巡って―

広島大学大学院後期博士課程

西 野 大 樹

三、上海共同租界行政と外国人居留民―英日の対立を中心に―

同志社大学大学院後期博士課程

藤 田 拓 之

民族学考古学部会

一、後期青銅器時代レヴァントにおけるエジプト人の存在

―「エジプト人代官の館」を事例として―

慶應義塾大学大学院修士課程

間 舎 裕 生

二、渭河平原における土壕

慶應義塾大学大学院修士課程

栗 山 知 之

三、関東地方における「山形土偶群」の地域性について

慶應義塾大学大学院修士課程

武 内 博 志

四、最花式土器の研究―青森県最花A貝塚出土土器の分析―

慶應義塾大学大学院修士課程

安 達 香 織

午後の部 講演・シンポジウム

「平城京を語る」

基調講演 田辺征夫 (奈良文化財研究所長)

コメント 藤森健太郎 (群馬大学教育学部・日本古代史)

桐本東太 (慶應義塾大学文学部・中国古代史)

藤村東男 (慶應義塾女子高等学校・考古学)

司会 三宅和朗 (慶應義塾大学文学部・日本古代史)

三田史学会総会

懇親会

三田史学会常任委員・委員（二〇〇七年七月～二〇〇八年六月）

〔常任委員〕

〔会長〕 坂本 勉

〔庶務〕 藤田苑子 長谷部史彦 田代和生

〔編集〕 井奥成彦 桐本東太 神田順司 安藤広道

〔会計〕 山口 徹

〔会計監査〕

原 信芳 櫻井準也

〔委員〕

〔日本史学〕 西岡芳文 湯浅吉美 小山幸伸 田中康雄 藤森健太郎

〔東洋史学〕 尾崎 康 山城喜憲 三沢伸生 野元 晋 嶋尾 稔

〔西洋史学〕 田辺三千広 野々瀬浩司 米田 治 坂口昂吉

〔民族学考古学〕 近森 正 藤村東男 高山 博 小川英雄